

京都

ケアマネ・ポート

KYOTO CARE MANE PORT

Contents

- 2 第4回日本介護支援専門員協会全国大会 in 京都
第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会 報告
- 5 社団法人 京都府介護支援専門員会 第5回総会
- 7 お知らせ
- 8 編集後記

第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会

参加御礼 京都府介護支援専門員会会長 上原春男

第9回近畿介護支援専門員研究大会には全国から多くの方々の参加をいただきました。介護保険制度と同時に出発したわれわれ介護支援専門員という新しい職種も、10年の月日を経て自覚的にも他覚的にも大きく変化してまいりました。そこで今回はもう一度原点にもどって介護支援専門員という職種を見直してみようと「対人援助の質を問う—あなたは自分の立ち位置が見えていますか?—」という題材をとりあげました。2日間の大会期間中、講演会、討論会、分科会と各会場で熱心な議論が行なわれ、大会としては成功裏に終わったと思っております。参加された他府県の介護支援専門員の方からの御礼やお褒めの言葉もいただきました。これも一重に、役員の皆様、実行委員としてお手伝いいただきました会員の皆様、事務局の皆様、そして参加いただいた方々のお陰であり心より御礼申し上げます。またご参加いただきました介護支援専門員の皆様には、なんらかの収穫を得ていただいたものと思います。例年の2月であれば寒さ厳しい京都ですが、本年は春がきたような暖かさの中での開催となりました。参加いただいた皆様には暖かい早春の京都も楽しんでいただけたのではないかと思います。この大会で得られたことが今後の皆様方のケアマネジメント活動のお役に立つことを祈念しまして御礼の挨拶とさせていただきます。

第4回日本介護支援専門員協会全国大会in京都 第9回近畿介護支援専門員研究大会 京都大会

御礼 大会実行委員長 松本善則

大会に参加された皆さん。如何でした? 大会期間中の2日間、計1,175名の御参加を頂き、無事終了することが出来ました。1日目の講演および討論会、2日目の各分科会による研究発表とシンポジウムを通し、参加された皆様の一人々々が介護支援専門員の専門性の答えやそのヒントとなる何かを得て頂いたと信じます。また、懇親会でも全国よりお集まり頂いた介護支援専門員の皆様の情報収集や情報交換、交流の場となりました。

大会が盛会を納められたのは全国よりお越し頂いた皆様、また、大会準備より開催までに関わって頂いたすべての皆様のおかげと感謝し御礼申し上げます。中でも多数の会員の皆さんには実行委員として当日早朝よりお手伝い頂き有り難うございました。

また、満員となりましたことで、お申し込み頂きながら、また、当日お越し頂きながら参加をお断りした皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。2日目の分科会発表とシンポジウムのまとめ、オプションツアー「小規模多機能めぐり」の様子については当会のホームページにて御報告しております。また、1日目の講演及び討論会の模様も動画配信する予定です。そちらもご覧下さい。

2月20日(土)

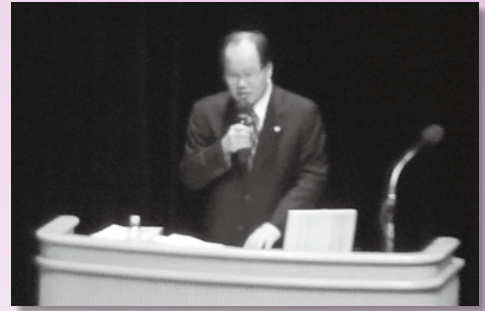
■開会式

■情勢報告「平成21年度介護報酬改定から1年を経て」

厚生労働省 老健局振興課長 土生 栄二

■活動報告「日本介護支援専門員協会の組織で会員を守る」

一般社団法人 日本介護支援専門員協会会長 木村 隆次



■講演「対人援助専門職が育つには ～基本から熟成まで～」

講師 奥川 幸子 (対人援助職トレーナー)

■討論会「ケアマネジャーのポジショニング」

司会：花園大学教授 福富 昌城

オブザーバー：奥川 幸子

発言者：京都市長寿社会部介護保険課担当課長

安部 康則

居宅介護支援事業者愛の園管理者

崎山 賢士

嵯峨野病院居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員

川添 チエミ



開会式後の奥川幸子先生の講演「対人援助専門職が育つには～基本から熟成まで～」や討論会ではケアマネとしての自分の存在目的を再度見直す良い機会として頂けたと思います。普段の業務に慣れてしまい、手際よく業務をこなすだけが上手になっていないか？目の前の方たちを本当に支援できているか？ケアマネ以前に自分のパーソナリティはしっかりしているか？等が投げかけられました。大会のサブタイトルでもある『あなたは自分のたち位置が見えていますか？』の「立ち位置」を皆さん一人ひとりがつかんで頂けたのではないのでしょうか？

■懇親会 (会場：リーガロイヤルホテル京都)



宮川町 よし富美



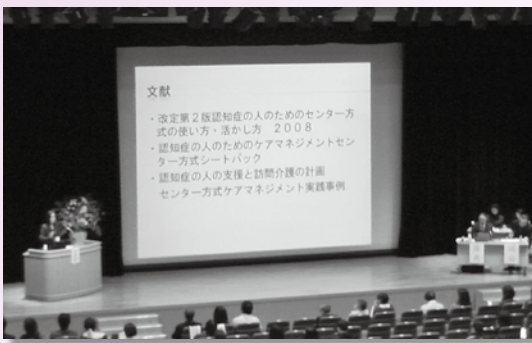
◀ Takarabune

懇親会では、京都ならではの芸者・舞妓さんの出迎えに始まり、アカペラコーラスグループ「タカラブネ」の歌、祝舞など美味しい料理を一層守り立てる盛りだくさんの内容で、開催地京都を満喫して頂けたことでしょう。全国から集ったケアマネジャーの方々の交流がとても良い刺激になったことと思います。近隣にはない話や、地域性の違いから出る考え方の違いなどの情報を交換し、とても心強い同士たちと今後の交流のきっかけとなる貴重な時間を過ごして頂けたのではと思います。

2月21日(日)

■分科会「報酬改定から1年を振り返る」

- ・第1分科会「家族構成の変化に伴う介護現場の課題と将来像」
座長：神戸学院大学総合リハビリテーション学部
社会リハビリテーション学科 准教授 奥西 栄介
- ・第2分科会「医療と介護の連携」
座長：社団法人 大阪府介護支援専門員協会 副会長
社団法人 大阪府医師会理事・小葉医院 院長 小葉 裕
- ・第3分科会「介護を受けながら住み続ける住まいのあり方」とケアマネジメント
座長：特別養護老人ホーム ビハーラ本願寺施設長 石川 進
- ・第4分科会「これからの認知症支援」
座長：花園大学 社会福祉学部社会福祉学科 教授 福富 昌城



・第5分科会「特定事業所の役割」

- 座長：美作大学生活科学学部福祉のまちづくり学科 教授(学科長)
美作大学大学院人間発達学研究科 教授 小坂田 稔

・ミニシンポジウム「要介護要支援認定とケアマネジメント」

～要介護要支援認定の意味を深め活かす視点とは～

- 座長：医療法人聖仁会 オーク介護支援センター
歯科医師・介護支援専門員（主任介護支援専門員）
富士河口湖町地域包括支援センター主任介護支援専門員 鷲見 よしみ

シンポジスト：厚生労働省 老健局老人保健課 課長補佐
特定非営利法人奈良県介護支援専門員協会 理事長
御坊市役所健康福祉課高齢者生活支援室室長兼地域包括センター長
京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ居宅介護支援事業所 管理者



天本 健司
竹村 恵史
湯川 憲治
城下 直子

■分科会報告

- 座長：財団法人仁風会 理事長
社団法人京都府介護支援専門員会 副会長 清水 紘

■閉会式

分科会では各分野での様々な取り組みや研究についての発表がされました。分科会報告では各会場の様子が報告され分野ごとの専門性のヒントが示されたのではないかと思います。発表者の皆様、お疲れ様でした。分科会ごとの質疑応答やシンポジウムのまとめは(社)京都府介護支援専門員会ホームページに掲載中です。



社団法人 京都府介護支援専門員会 第5回総会

日時：平成22年3月20日(土) 午後2時～ ハートピア京都3階大会議室

【総 会】

開会挨拶：上原会長

議案説明：

第1号議案

社団法人 京都府介護支援専門員会平成22年度事業計画（案）

提案者＝北川副会長 承認されました

第2号議案

社団法人 京都府介護支援専門員会平成22年度収支予算（案）

提案者＝藤本副会長 承認されました

第3号議案

社団法人 京都府介護支援専門員会理事の選任について

提案者＝上原会長 承認されました

第4号議案

一般社団法人 日本介護支援専門員協会との連携について

提案者＝上原会長 承認されました

報告事項

社団法人 京都府介護支援専門員会諸規定について

提案者＝小林理事

閉会挨拶：藤本副会長



【特別講演】 医療との連携を巡る大討論会 ～医師・ケアマネいいたい放題～

座 長：

出木谷 寛 氏 （出木谷医院）

討論者：

藤岡 嗣朗 氏 （藤岡五ヶ荘診療所）

松本 恵生 氏 （京都市岩倉地域包括支援センター）

伊佐 いく子 氏 （弥勒会井手町在宅介護支援センター）

吉川 順介 氏 （吉川病院）



第4号議案 「一般社団法人日本介護支援専門員協会との連携について」の可決にあたって

第5回総会にて可決された4号議案にて、一般社団法人 日本介護支援専門員協会（以下、日本協会）への加入が一括加入から任意加入へと変更になりました。これにより平成22年度からは会員の皆様が個々に社団法人 京都府介護支援専門員会（以下、当会）のみの加入と、これまで通り日本協会との同時加入の選択が可能となりました。ただし、この任意加入への変更は当会が日本協会の存在意義を認めていないという意味ではなく、当会が日本協会の必要性を重視していることはこれまでと変わりありません。

会員の皆様におかれましては、所属しておられる職種あるいは学術団体の数により、おそらく数種に亘る会費を納めておられることと思います。それぞれの団体に所属しておられる理由は、それぞれの団体そのものの必要性と、会員であることの必要性を認識されてのことと思います。

当会が会員の皆様に日本協会入会の継続をお願いしますのも、まさに日本協会の存在の必要性を重視するからです。

今回の議決は単なる費用負担の大小だけでなく、当会入会のメリットと日本協会入会のメリットの体感される差の大きさの違いに起因したものと分析しております。

たしかに、日本協会の活動は皆さんの日々の業務からは遠いものであり、入会のメリットは感じにくいものであると思います。しかしながら、介護支援専門員の権利擁護や地位向上等には国・行政への働きかけが必要であり、そのためには全国組織が必要です。この意味で日本協会はわれわれにとって必要不可欠な組織であり、現に多くの国に働きかける活動を行なっております。この働きかけの強さはその組織の力により、また組織の力は組織率が大きく影響します。

加入が任意化となっても、日本協会への加入が必要であることには変わりはありません。加入が任意となったからこそ、前述の日本協会の存在意義を一人ひとりが理解し、加入の継続を再考し、ご判断頂ければと存じます。



Information

社団法人 京都府介護支援専門員会よりの お知らせ

住所・氏名・勤務先等を変更された方へ

住所・氏名・勤務先等を変更された方は、「住所・氏名・勤務先等変更届」をご提出いただきますようお願いいたします。変更届の用紙をお持ちでない場合は送付させていただきますので、事務局までご連絡ください。

介護認定調査員の募集について

京都市介護認定調査員を募集しています。(北区・左京区・山科区方面へいける方歓迎)
詳細は **事務局調査担当係 TEL. 075-254-3969** までお問合せください。

平成22年度京都府介護支援専門員更新研修の日程のお知らせ

平成22年度京都府介護支援専門員更新研修の日程が下記のとおり決定いたしました。なお、開催要綱は当会のホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

コース		月 日	時 間	科 目
A	居宅北部 (定員120名) 4日間	5月26日(水)	10:00～16:00	特別講義・介護支援専門員の課題
		5月27日(木)	10:00～13:00	サービス担当者会議演習
		6月4日(金)	10:00～17:00	事例研究
		6月5日(土)	10:00～17:00	事例研究
B	居宅南部1 (定員200名) 4日間	6月8日(火)	10:30～16:30	特別講義・介護支援専門員の課題
		6月14日(月)	13:00～16:00	サービス担当者会議演習
		6月22日(火)	10:00～17:00	事例研究
		6月23日(水)	10:00～17:00	事例研究
C	居宅南部2 (定員120名) 4日間	6月8日(火)	10:30～16:30	特別講義・介護支援専門員の課題
		6月16日(水)	10:00～13:00	サービス担当者会議演習
		6月28日(月)	10:00～17:00	事例研究
		6月29日(火)	10:00～17:00	事例研究
D	施 設 (定員120名) 4日間	5月26日(水)	10:00～16:00	特別講義・介護支援専門員の課題
		6月16日(水)	14:30～17:30	サービス担当者会議演習
		7月5日(月)	10:00～17:00	事例研究
		7月7日(水)	10:00～17:00	事例研究
E	施 設 (定員120名) 4日間	6月8日(火)	10:30～16:30	特別講義・介護支援専門員の課題
		6月16日(水)	14:30～17:30	サービス担当者会議演習
		7月5日(月)	10:00～17:00	事例研究
		7月7日(水)	10:00～17:00	事例研究
G	居宅南部3 (定員120名) 3日間 *現任研修対象者限定	12月6日(月)	10:00～16:00	特別講義・介護支援専門員の課題
		12月14日(火)	10:00～18:30	サービス担当者会議演習・事例研究
		12月15日(水)	10:00～18:30	事例研究

第6回総会の開催について

第6回総会を下記にて開催（予定）いたしますのでご予約ください。

日 時：平成22年6月26日（土）

場 所：京都テルサ（市営地下鉄烏丸線 九条駅下車）

ケアプラン点検支援マニュアル 京都府介護支援専門員会介護保険関連情報CD 好評販売中

この「ケアプラン点検支援マニュアル」は厚生労働省が平成21年度から重点実施する「介護給付費適正化事業」の主要事業である「ケアプラン点検」を支援するため、平成20年7月に厚生労働省老健局振興課により作成されたものです。

価 格：1,000円

平成21年4月改正をうけて同月以降に発出された「介護保険最新情報」のうちケアマネジメントに必要とされる主なもの、本会独自に作成したシート類や府下で使用されている連携ツール類に加え、本会受託業務の訪問調査に従事する調査員向けに、訪問調査における動画資料や調査に係る様々な情報をまとめ作成・配布したCD-ROM内容を追加したものです。

価 格：500円

当会主催の研修会場や総会会場でも販売しております。お問合せは事務局まで。

福祉サービス利用援助事業の利用料について

京都府内（京都市内を除く）の福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の利用料について、生活保護世帯の方に加えて市町村民税非課税世帯の方も無料となりました。

これは京都府の施策によるもので、平成21年11月から実施されています。

詳しくは市町村社協または京都府社協まで問い合わせください。

編 集 後 記

春です。卒業、入学、入職、異動…の時期ですね。通勤途上で、新品ランドセルが小さな背中で揺れていたり、新しいスーツが緊張してぎくしゃくと歩いているのを見かけると、なんだか、こちらまでワクワクしてきます。（ちなみに、うちの息子はエメラルドグリーンのランドセルを背負っています…）

この時期になると思い出すのは、未だ私が入職して間もない時期の研修会での講師の一言です。どんな流れの中で出てきたのかさえ定かではないのですが、「対人援助職者である以上、頭の中は常にラディカル（革新的）でなければいけない」というセリフです。

ケアマネジャーとして、様々な利用者や介護者との出会いがあります。これまでの自分の価値観だけではとても理解が出来ない事例に対応しなければならない場面もあります。

また、フォーマルなサービスをフォーマルな形態で利用するだけでは、とても支えきれない利用者との出会いもあります。そこで、ケアマネジャーに求められるのは、これまでの価値観、経験や知識に縛られる事なく、「ラディカルに想像できる力」ではないでしょうか？

経験とはとても大切な力ですが、その経験のために保守的になってしまい、ラディカルな発想が阻害されてはケアマネジャーとしての成長はないように思います。春のこの時期、新入職員の頃を思い浮かべ、発想がラディカルであり続けられているか？自己点検してみてもはどうでしょうか？（社団法人京都府介護支援専門員会 理事 井上 基）

京都ケアマネポート33号

2010年5月1日発行

発行人 上原 春男

編集委員長 松本 善則

発行元 社団法人 京都府介護支援専門員会

〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町375 京都府立総合社会福祉会館7階
TEL. 075-254-3970 FAX. 075-254-3971
E-mail: kyotocaremane@wine.ocn.ne.jp